

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)(案)

資料1-1

令和4年1月 日

協議会名: 犬山市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持改善事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価	【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
あおい交通株式会社	栗栖・富岡線	新型コロナウイルス感染症拡大や緊急事態宣言(移動自粛)の発令等により、利用者が減少したが、コロナ禍においても移動が必要な人の交通手段として機能している。そのため、運行を継続するために、利用者が安心してコミュニティバスに乗車できるように環境を整える必要があった。 【対応策】 ・ドライバーのマスク着用 ・乗客へマスク着用の協力依頼 ・車内の定期的な換気、消毒 ・乗客用消毒液の設置 ・車内に抗ウイルススプレーの使用 ・バスロケーションシステムにリアルタイムの混雑状況を表示させるため、乗降カウントシステムを導入。(現在、試行期間中。令和3年度中には実装予定。)	A	利用者数による年間目標値14,000人に対して10,637人の実績であり目標は未達成。【達成率:76%】 B コロナ禍に伴う移動自粛等制限のため、栗栖方面への観光利用(寂光院・桃太郎神社等)が減少した。	【目標】年間利用者数(令和3年7月13日生活交通確保維持改善計画より) ①補助金対象外路線含む計8路線: 91,890人以上の維持 ②補助対象路線別目標 栗栖・富岡線: 11,520人以上 上野線: 12,870人以上 今井・前原線: 17,910人以上 楽田東部線: 5,130人以上 善師野・塔野地線: 13,590人以上 内田線: 8,370人以上 (補助対象外路線) 楽田西部線: 6,840人以上 入鹿・羽黒線: 15,660人以上 ※期間: R3.10.1~R4.9.30 【目標に対する考察】 コロナ禍において利用者が減少しているが、減少率はコロナ禍前の事業年度との比較で約17%減にとどまっており、コロナ禍においても移動が必要な人の交通手段として機能していると考えられる。 H30.10~R1.9 115,184人 R1.10~R2.9 102,547人 R2.10~R3.9 95,133人 平成30年度の再編で、路線数・バス台数を増加したことから、利用者数は増加傾向にあったが、コロナ禍が収束するにはまだ時間がかかると想定し、各路線、前年の目標値(年間利用者数)の約1割減を見込んでいる。 【改善策】 更なる利用者数の増加を目指すため、下記の対応を行い、利便性を増加させる。 キャッシュレス決済の導入 Googleマップへの反映 車内掲示・チラシの改善 コミュニティバスの周知促進
	上野線		A	利用者数による年間目標値14,000人に対して12,886人の実績であり目標を未達成。【達成率:92%】 B コロナ禍に伴う移動自粛等制限のため利用者が減少したが、観光等娯楽施設が少ない路線のため、減少率は他路線に比べると少ない。	
	今井・前原線		A	利用者数による年間目標値22,000人に対して17,950人の実績であり目標は未達成。【達成率:82%】 B コロナ禍に伴う移動自粛等制限のため、市民健康館や総合犬山中央病院への利用が減少した。	
	楽田東部線		A	利用者数による年間目標値5,500人に対して4,782人の実績であり目標を未達成。【達成率:87%】 B コロナ禍に伴う移動自粛等制限のため、総合犬山中央病院への利用が減少した。	
	善師野・塔野地線		A	利用者数による年間目標値17,000人に対して16,116人の実績であり目標は未達成。【達成率:95%】 B コロナ禍に伴う移動自粛等制限のため利用者が減少したが、観光地等娯楽施設が少ない路線のため、減少率は他路線に比べると少ない。	
	内田線		A	利用者数による年間目標値9,500人に対して7,916人の実績であり目標を未達成。【達成率:83%】 B コロナ禍に伴う移動自粛等制限のため、犬山城方面へ向かう利用が減少した。	